

【入賞】

【受賞者概要】

主伐（機械地拵え）実施者：（有）アンプス
 再造林実施者：江田 一雄
 森林管理者：江田 一雄

【施業現地概要】

施工箇所：玖珠町大字山浦字大原野
 再造林面積：2.39ha
 植栽密度：1,500本/ha（スギ コンテナ・シャカイン）



地拵え状況



植栽木の状況

【評価のポイント】

- 地拵え・集材路
 - ・伐採時の集材路を活用し機械地拵えを最大限行うことで省力化に取り組んでいる。
- 植栽木【R5.11植栽】・獣害対策
 - ・低コスト化を目指し、1,500本/haの低密度植栽に取り組むとともに、現地に適した樹種の植栽により、活着も良好である。
 - ・シカネットを設置し、獣害の防止に努めている。

【入賞】

【受賞者概要】

主伐（機械地拵え）実施者：（株）エフバイオス
 再造林実施者：西高森林組合
 森林管理者：西高森林組合

【施業現地概要】

施工箇所：杵築市大田大字永松字天堤
 再造林面積：11.00ha
 植栽密度：2,000本/ha（スギ コンテナ・シャカイン）



地拵え・集材路の状況



植栽木の状況

【評価のポイント】

- 地拵え・集材路
 - ・耐久性の高い集材路を開設しており、作業の省力化が図られている。
 - ・全木集材により残材が少なく、地拵え・植栽・下刈り作業等の省力化に繋がっている。
- 植栽【R3.2植栽】・獣害対策
 - ・ヒノキ伐採跡地であるが、現地に適したスギを植栽しており、成長も良い。
 - ・シカネットを設置し、獣害の防止に努めている。

令和6年度 大分県再造林・保育コンクール



最優秀賞：竹田市荻町大字馬場の再造林現地

主 催 大分県 農林水産部
 後 援 大分県森林組合連合会
 公益財団法人 森林ネットおおいた
 大分県樹苗生産農業協同組合
 大分県林業改良普及協会
 大分県造林推進協議会



【最優秀賞】

【受賞者概要】

主伐（機械地拵え）実施者：藤義運輸（有）
 再造林実施者：藤義運輸（有）
 森林管理者：藤義運輸（有）

【施業現地概要】

施工箇所：竹田市荻町大字馬場字荻迫
 再造林面積：0.43ha
 植栽密度：2,000本/ha（スギ コンテナ・シャカイン）



地拵え状況



植栽木の状況

【評価のポイント】

- 地拵え・集材路
 - ・主伐から造林、保育管理まで一貫して自社で実施することで、効率化・低コスト化を図った。
 - ・施業地内に移動式チップパーを持ち込み、末木枝条、根株のチップ化を最大限実施することで、再造林が可能な区域を広げるとともに、下刈作業の省力化と安全性の向上に努めている。
- 植栽【R6.3植栽】・獣害対策
 - ・コンテナ苗を植栽しているため、降雨が少ない状況でも苗木の活着率は高い。また、苗木に蛍光テープを付けることで下刈機による誤伐を防いでいる。
 - ・近隣の再造林地の状況を確認したうえで、獣害対策を行なっており、現状で被害は無い。

【優秀賞】

【受賞者概要】

主伐（機械地拵え）実施者：城島高原ハレ・レゾナンス
 再造林実施者：城島高原ハレ・レゾナンス
 森林管理者：城島高原ハレ・レゾナンス



植栽地の状況

【施業現地概要】

施工箇所：別府市大字東山字合ノ原ノ上
 再造林面積：3.00ha
 植栽密度：1,000本/ha（スギ コンテナ・シャカイン）



植栽木の状況

【評価のポイント】

- 地拵え・集材路
 - ・風倒木被害発生後に全木集材により丁寧な地拵えを行っており、残材がほとんどない。
 - ・間伐の際に開設した作業路を活用し、今後の作業にも使えるような植栽配置をしている。
- 植栽【R6.4植栽】・獣害対策
 - ・1000本/haの低密度植栽を実践しており、植栽からの活着も良好である。
 - ・シカ被害が多い地域性を考慮し、全てツリーシェルターによる食害の防止対策を行なうとともに、無下刈施業を目指している。国道沿いは景観に配慮し、茶色のツリーシェルターを施工している。

【入賞】

【受賞者概要】

主伐（機械地拵え）実施者：おおいた森林組合
 再造林実施者：おおいた森林組合
 森林管理者：おおいた森林組合



地拵え状況

【施業現地概要】

施工箇所：由布市湯布院町大字川上字原山
 再造林面積：1.50ha
 植栽密度：2,000本/ha（スギ コンテナ・シャカイン）



植栽木の状況

【評価のポイント】

- 地拵え・集材路
 - ・主伐から再造林までおおいた森林組合が管理しており、施業の省力に努めている。
 - ・全木集材による機械地拵えを最大限行うことで、施業地の棚積等の整理も良好である。
- 植栽【R5.3植栽】・獣害対策
 - ・現地に適した樹種を植栽しており、植栽木の成長も良好であり、補植も適宜行なわれている。
 - ・施業地内のシカネットを効果的に配置し、効率的な獣害防止に努めている。

【入賞】

【受賞者概要】

主伐（機械地拵え）実施者：佐伯広域森林組合
 再造林実施者：佐伯広域森林組合
 森林管理者：小川共有 区長



地拵え状況



植栽木の状況

【評価のポイント】

- 地拵え・集材路
 - ・急傾斜であり必要最小限の集材路を開設、全木集材により林地への負担を少なくするとともに、機械地拵えを最大限行うことで、低コスト化が図られている。
- 植栽【R4.3植栽】・獣害対策
 - ・現地に適した樹種を植栽しており、普通苗にもかかわらず活着も良く、特に施業地下部部の植栽木の成長は良好である。
 - ・編目100mmのスカートタイプのシカネットにより、的確な獣害防止対策が図られている。